

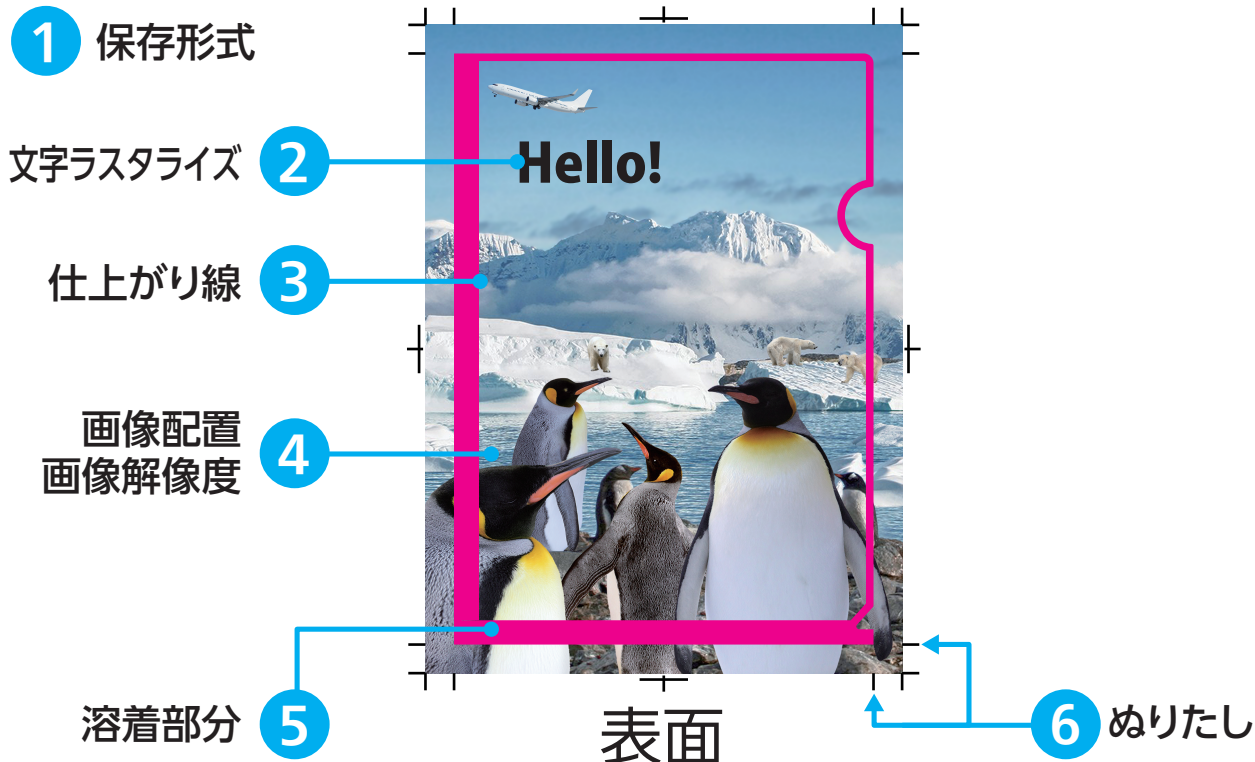
レンチキュラー印刷データ作成について



※レンチキュラー印刷データは通常のクリアファイル印刷データとは異なりますのでご注意ください。

Adobe Photoshop 用 データ作成時のチェックポイント

例: A4 クリアファイル



保存形式 1 「このレイヤーは消してください」レイヤーを消してから、カラープロファイルの埋め込みのチェックを外し、**PSD形式**で保存して入稿してください。
各画像パーツのレイヤーは統合しないでください。

文字ラスターライズ 2 文字には必ず**ラスターライズ(画像化)処理**をかけてください。

仕上がり線 3 ピンクのラインの外側で型抜きします。切れてはいけな文字やデザインはラインより**3mm内側**にデザインしてください。

画像解像度 4 原寸サイズで**300~350dpi**を推奨しております。
解像度はメニューの「イメージ」→「画像解像度」で確認することができます。
必ず**CMYK**にしてプロファイルは埋め込まないでください。

溶着部分 5 溶着部分への印刷は可能ですが見せたいデザインや読ませたい文字は仕上がり線より**7mm以上内側**に配置してください。

ぬりたし 6 仕上がり部分より**左右15mm外側**(横向きデザインの場合は上下15mm)までぬりたしをつけてください。

作成レイヤー 7 レイヤーの「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。
3Dレイヤー、3Dリアルの場合は、
遠近別に前後するよう、パーツごとにレイヤーを分けて作成してください。
チェン징ング、ムービングの場合は、
カット別にレイヤーを分けて作成してください。

